

製品名: AChR α 3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06498**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	CHRNA3
別名	CHRNA3; NACHRA3; Neuronal acetylcholine receptor subunit alpha-3
遺伝子 ID	1136.0
SwissProt ID	P32297
免疫原	抗血清はヒト AChR α 3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 90-139

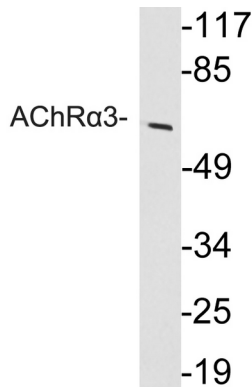
背景

この遺伝子座は、ニコチン性アセチルコリン受容体ファミリータンパク質のメンバーをコードしています。このファミリータンパク質のメンバーは、 α サブユニットと β サブユニットの両方からなる五量体複合体を形成します。この遺伝子座は、特徴的な隣接システ

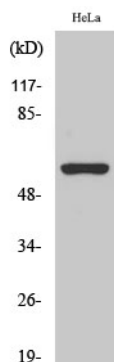
イン残基を含むため、 α 型サブユニットをコードしています。コードされているタンパク質は、リガンド依存性イオンチャネルであり、神経伝達に関与していると考えられます。この遺伝子の多型は、喫煙開始リスクの増加および肺がん感受性の増加と関連付けられています。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションも報告されています。[RefSeq 提供、2009年11月]、疾患: CHRNA3 遺伝子変異は、2型肺癌 (LNCR2) の感受性と関連している可能性がある[MIM:612052]。疾患: CHRNA3 遺伝子変異は、2型末梢動脈閉塞症 (PAOD2) の感受性と関連している可能性がある[MIM:612052]。PAOD は、末梢大動脈および中大動脈、ならびに大動脈の動脈硬化によって引き起こされます。喫煙、糖尿病、高血圧、高脂血症など、多くの危険因子が PAOD に寄与します。PAOD は、冠動脈疾患や脳血管疾患と併存することが多い。機能: AChR はアセチルコリンに結合すると、広範な構造変化を起こし、すべてのサブユニットに影響を与え、細胞膜を横切るイオン伝導チャネルの開口につながる。類似性: リガンド依存性イオンチャネル (TC 1.A.9) ファミリーに属する。サブユニット: 神経性 AChR は、 α サブユニットと β サブユニットという2種類のサブユニットから構成される。 $\alpha 3$ サブユニットは $\beta 2$ サブユニットまたは $\beta 4$ サブユニットと結合することで機能的な受容体を形成する。RIC3 と相互作用し、適切な折り畳みと組み立てに必要となる。

研究分野

画像データ



AChR $\alpha 3$ 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



AChR $\alpha 3$ ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析